

北海道経済連合会との情報交換会の開催について

電機電子部会ではこの度、下記のとおり北海道経済連合会との情報交換会を開催いたしました。

1. 日 時：平成 29 年 2 月 24 日（金）
情報交換会 16:00～17:50
懇 親 会 17:50～20:00

2. 場 所：札幌全日空ホテル 22 階 鈴蘭の間 （札幌市中央区北 3 条西 1 丁目）

3. 出席者：道経連 3 名、電機電子部会員 10 社 11 名、事務局 2 名 計 16 名

4. 概 要

(1)当部会 前田部会長の魅力ある工業会づくりに貢献していきたいとの挨拶に続き、道経連 菅原光宏事務局長より挨拶と道経連の平成 28 年度事業計画の全体像にて説明があった。要旨は次のとおり。

- ・道経連の活動は「産業振興委員会」「地域政策委員会」「労働政策委員会」の 3 つの委員会で「食・観光・ものづくり」を骨格事業として活動しており、今後航空宇宙産業とスマート農業に力を入れたいと説明。

(2)北海道の労働情勢を踏まえ、経営者側からの労働者問題について、北浦労働政策局部長より女性の活躍推進に向けてのプロジェクトチームの活動及び理工系女性の人材育成の取組について紹介があった。

(3)北海道経済連合会の産業振興グループの活動について、佐藤産業振興グループ部長から「宇宙委」の活動及びスマート農業の取組について説明があった。

(3)当会の北海道経済産業局委託事業の「一次産業支援ロボット中核プラットフォーム構築」について、大澤事務局長から説明した。

(4)本道電機電子業界の現状・課題等について意見交換を行った。主な発言内容は次のとおり。

- ・農業の ICT 化について、当会会員より本道において過去に農業のメカトロ化を機械メーカーを含め推進した経緯があり、現在も各企業で息づいている。ICT 化に向けて、テーマを絞ってワーキンググループを形成し推進する仕組みを創れないだろうか。集積して推進できれば大変有意義と思うとの発言あり。

- ・労働政策について、会員企業より学生を送り出す側の姿勢(理工系大学、高専等)について、道内企業就業の意義を任せる若者づくりや取組み(地場企業への優先採用)の要望あり。

菅原事務局長より、北海道銀行での道内四高専と道内企業とのマッチングの取組及び道内企業の求人活動のタイミングの問題等検討必要との発言。

- ・交流懇親会においても北海道ものづくり産業の取組について「継続は力なり」との認識を確認し、有意義な交流であった。